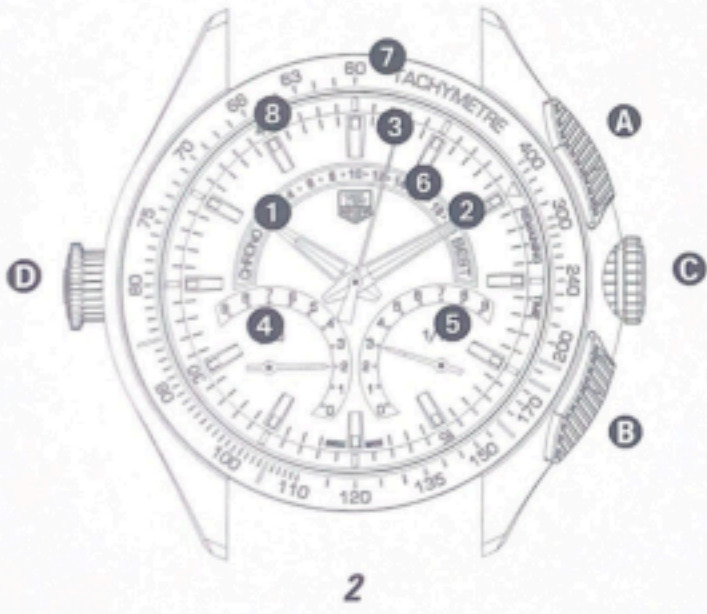


1



2

OPEN →

各部の名称と機能

図1：このクロノグラフは次の3つのモードを備えています。

- >モード1：時刻・日付表示モード
- >モード2：クロノグラフ・モード (CHRONO)
- >モード3：ベストラップタイム・モード (BEST)

指 針	プッシュボタンとリユーズ
① 時 針	Ⓐ クロノグラフ・モード：スタート ベストラップタイム・モード：次の週のラップタイム表示
② 分 針	Ⓑ クロノグラフ・モード：・ストップ/リセット ベストラップタイム・モード：前の週のラップタイム表示/リセット
③ 秒 針	Ⓒ リユーズ：時刻・日付合わせ/モードの切替え Ⓓ 第2リユーズ：経過タイム測定目盛付インナーベゼルの回転 (両方向)*

カウンター

- ④ 時刻・日付表示モード：日付 (10の位を表示、0~3)
クロノグラフ・モードとベストラップタイム・モード：1/10秒表示
- ⑤ 時刻・日付表示モード：日付 (1の位を表示、0~9)
クロノグラフ・モードとベストラップタイム・モード：1/100秒表示
- ⑥ クロノグラフ・モード：時針が弧状目盛上に現在計測中の周番号 (1~20) を表示
ベストラップタイム・モード：時針が弧状目盛上に現在表示中のラップタイムの周番号 (1~20) を表示

目 盛

- ⑦ 固定ベゼル上のタキメーター目盛
- ⑧ 両方向回転インナーベゼル上の経過タイム測定目盛*

* TAG Heuer SLR Calibre S Laptimerのみ。

時刻・日付の合わせ方

本製品は、10気圧（水深100m）防水を保証する防水パッキンを使用したリューズを搭載しています。

リューズには次の2つの位置があります（図1）。

- ニュートラル位置（0位置）
- 引き出した位置（1位置）

リューズをどの位置で回しても、何も起きません。

時刻・日付合わせの操作中、秒針③の位置は、現在行っている調整の内容、すなわち、時計（午前）年、月、日付、時計（午後）、分針、を示します。

たとえば時刻・日付合わせの操作中、秒針が15秒を示していれば、現在時計を合わせており、その時刻が午後であることを表します。

時・分針の調整

クリック音がするまでリューズを引き出します（1位置）。時計調整モードになります。

時計調整モードでは、秒針は45秒（午前）または15秒（午後）を示します。

時計調整モードでは、時計①は正時から正時へ1時間ずつジャンプして進みます。

ご注意：時針が1周する毎に、秒針の表示が45秒（午前）から15秒（午後）に、またはその逆に変わります。

時針の調整が終わったら、プッシュボタン **B** を押すと、分針調整モードになります。

分針調整モードでは、秒針 **3** は30秒を示します。プッシュボタン **A** を1回押す毎に分針が1分進みます。

時・分針の調整が終わったら、リユーズ **C** をニュートラル位置（0位置）に戻します。

秒針 **3** はゼロに一旦リセットされてから再び進み始めます。また時針 **1** は、正時から現在時刻の位置まで進みます。

年、月、日付の調整

1. 年の調整

本製品は、2001年1月1日から2099年12月31日まで、閏年を考慮し、各月末の日付（28、29、30、31日）を自動的に判別して日付を表示する永久カレンダーを搭載しています。

リユーズを1位置に引き出し、次いでプッシュボタン **B** を2回押すと、年調整モードになります。

また前述の時・分針の調整後、リユーズ **C** をニュートラル位置（0位置）に戻さず、引き出した位置（1位置）のままプッシュボタン **B** を1回押すと、年調整モードになります。

年調整モードでは、秒針 **3** は55秒を示します。左のカウンター **4** の指針は年の10の位を示し、右のカウンター **5** の指針は年の1の位を示します。

プッシュボタン **A** を1回短押しする毎に1年ずつ進み、長押しする毎に数年進みます。

ご注意：本製品では、誤って年の10の位を進め過ぎた場合は、年を戻すことはできません。一旦最後まで進め、さらに進めて正しい年に合わせてください。

2. 月の調整

年の調整が終わったら、プッシュボタン **B** を押します。

月調整モードとなり、秒針 **③** は00秒を示します。左のカウンター **④** の指針は月の10の位を示し、右のカウンター **⑤** の指針は月の1の位を示します。

プッシュボタン **A** を1回短押しする毎に1月ずつ進み、長押しする毎に数か月進みます。

3. 日付の調整

月の調整が終わったら、プッシュボタン **B** を押します。

日付調整モードとなり、秒針 **③** は05秒を示します。左のカウンター **④** の指針は日付の10の位を示し、右のカウンター **⑤** の指針は日付の1の位を示します。

プッシュボタン **A** を1回短押しする毎に1日ずつ進み、長押しする毎に数日進みます。

年、月、日付の調整が終わったら、プッシュボタン **B** を押すと時計調整モードに戻ります。

以上の操作の間、いつでもリューズ **C** をニュートラル位置 (0位置) に戻すことができます。リューズ **C** をニュートラル位置 (0位置) に戻すと、時刻・日付合わせが終了し、通常の時刻・日付表示に戻ります。

本製品のケースバックには、時刻・日付合わせの操作中、秒針の位置が示す調整の内容、すなわち、時計 (午前) 年、月、日付、時計 (午後)、分針、が刻印されており、取扱説明書なしでも容易に調整が行えます。

クロノグラフ・モード

〈TAG Heuer Calibre S Laptimer〉は、時刻表示と同じ指針によりクロノグラフ表示を行うため、最高の視認性を誇っています。

クロノグラフ・モードでは1周のみ、または連続する20周までのラップタイムを計測することができます。

時刻・日付表示モードからクロノグラフ・モードへの入り方と指針のリセット

時刻・日付表示モードからクロノグラフ・モードに入るには、リュースズ[Ⓒ]を1回押します。

クロノグラフ・モードに入った時、時針がクロノグラフ・モード (CHRONO) を表示し、他のすべての指針がゼロを示しているならば、指針はリセットされていますので、そのままクロノグラフ計測を開始することができます。

クロノグラフ・モードに入った時、時針がクロノグラフ・モード (CHRONO) を表示しても、他のすべての指針がゼロを示していないならば、指針はリセットされていません。この場合指針は前回の計測結果を表示しています。

クロノグラフ計測を開始する前に、クロノグラフの指針は必ずリセットされていなければなりません。

クロノグラフの指針をリセットするには、プッシュボタンBを3秒間押します。時針がクロノグラフ・モード (CHRONO) を表示し、分針、秒針、カウンターの指針がゼロに戻ります (図3)。

115

クロノグラフの操作方法

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. クロノグラフ・モードに入る | リュースズ [Ⓒ] を押す |
| 2. クロノグラフの指針をリセットする | プッシュボタンBを3秒間押す |
| 3. 第1周スタート | プッシュボタンAを押す |
| 4. 第1周ストップ/第2周スタート | プッシュボタンAを押す |
| 5. 第2周ストップ/第3周スタート | プッシュボタンAを押す |
- これを繰り返す

6. 第 n 周ストップ
7. 第 n 週の計測結果が表示される

プッシュボタン **B** を押す

ご注意：連続する20周までのラップタイムを記憶することができます。計測が20周を超えた場合は、すでに記憶されているラップタイムが上書きされます。例えば、第21週のラップタイムは第1週のラップタイムを消去して、その代わりに記憶されます。

クロノグラフ・モードの表示

- 時計 **1** は、まずクロノグラフ・モード (CHRONO) を表示し、計測が始まると、計測中の周番号を表示
- 分針 **2** は分を表示 (1分毎にステップ運針)
- 秒針 **3** は秒を表示
- 左のカウンター **4** は1/10秒を表示
- 右のカウンター **5** は1/100秒を表示

ご注意：プッシュボタン **A** を押す毎に、各指針は5秒間停止し、最新の周番号のラップタイムを表示します。その間もクロノグラフは中断することなく、次のラップタイムの計測を続けます。

クロノグラフ計測中の時刻・日付表示

リューズ **C** を押せば、いつでもクロノグラフ計測を中断することなく、時刻・日付表示を行うことができます。時刻・日付表示中は、プッシュボタン **A**、**B** を押しても何も起きません。さらにもう一度リューズ **C** を押せば、クロノグラフ・モードに戻り、そのままクロノグラフ計測を続けることができます。

ベストラップタイム・モード

この機能は、ベストラップタイム・モード（最も短いラップタイム）とその周番号を知ることができます。また記憶されているすべてのラップタイムを参照することができます。連続する20周までのラップタイムを記憶することができます。

ベストラップタイム・モードへの入り方とデータのリセット

- 時刻・日付表示モードからベストラップタイム・モード (BEST) に入るには、リユーズ[Ⓒ]を2回押します。
- クロノグラフ・モードからベストラップタイム・モードに入るには、リユーズ[Ⓒ]を1回押します。

ベストラップタイム・モードに記憶されているデータをリセットするには、プッシュボタン[Ⓓ]を3秒間押します。時計がクロノグラフ・モード (CHRONO) を表示し、分針、秒針、カウンターの指針がゼロに戻ります。

ご注意：クロノグラフ計測を1度も行っていないか、ベストラップタイム・モードまたはクロノグラフ・モードでデータ、指針のリセットを行った後では、記憶されたデータがないため、このモードは機能しません。

ベストラップタイム・モードの表示

ベストラップタイム（最も短いラップタイム）の参照

ベストラップタイム・モードに入ると、

- 時計^①は、まずベストラップタイム・モード (BEST) を2秒間表示し、次いで弧状目盛 (1~20) 上にベストラップタイムの周番号を表示
- 分針^②はベストラップタイムの分を表示
- 秒針^③はベストラップタイムの秒を表示
- 左のカウンター^④はベストラップタイムの1/10秒を表示
- 右のカウンター^⑤はベストラップタイムの1/100秒を表示

記憶されているすべてのラップタイムの参照

ベストラップタイムを表示させた後、記憶されている他のすべてのラップタイムを参照することができます。

一つ前の週のラップタイムの参照は、プッシュボタン **B** を1回押します。時計が弧状目盛 (1~20) 上に一つ前の周番号を表示し、分針、秒針、カウンターの指針はその週のタイムを表示します。

一つ後の週のラップタイムの参照は、プッシュボタン **A** を1回押します。時計が弧状目盛 (1~20) 上に一つ後の周番号を表示し、分針、秒針、カウンターの指針はその週のタイムを表示します。

ベストラップタイム・モードの表示例 (図4)

ベストラップタイム・モードに入ると、

- 時計 **1** の表示 : 2

- 分針 **2** の表示 : 2

- 秒針 **3** の表示 : 10

- 左のカウンター **4** の表示 : 5

- 右のカウンター **5** の表示 : 7

と表示されたとします。この場合、周番号2のラップタイムが2分10秒57であることを示しています。

タキメーター目盛付固定型ベゼル

タキメーター目盛は、平均速度を簡単に求めることができます。1 km または1マイルの距離を通過するのにかかった時間を、クロノグラフ60秒表示計で測定します (測定できるのは60km/h または60mph 以上の速度です)。

プッシュボタン **A** を押してクロノグラフをスタートさせます。再びプッシュボタン **A** を押してクロノグラフをストップさせます。秒針 **3** のタキメーター目盛 **7** 上の値を読みとれば、それが平均時速 (km/h またはmph) となります。

経過タイム測定目盛付 両方向回転インナーベゼル*

経過タイム測定目盛付両方向回転インナーベゼル^⑧は、精密なストップメカニズムにより、経過タイムを正確に測定することができる高度な機構です。

競技開始時に第2リュース^①を回して、インナーベゼル^⑧上の矢印マークを分針^②の現在の位置に合わせます（図5：競技開始時の表示）。

経過タイムは、分針が指すインナーベゼル^⑧目盛上の数字によって表示されます（図6：30分経過した時の表示）。

* TAG Heuer SLR Calibre S Laptimerのみ。

クロノグラフ表示針の調整

電池交換の後や、クロノグラフが強い衝撃・磁場にさらされた場合は、クロノグラフ表示針がゼロ位置に復帰しなくなることがあります。その場合以下の方法で調整することが必要です。

119

ご注意：クロノグラフ表示針の調整は、時刻・日付表示モードで行います。

1. クロノグラフ表示針の調整を行うには、まずプッシュボタン^①、^②を同時に長押し（2秒以上）します。左右のカウンターの指針がゼロにリセットされ、モーターが停止します。
2. プッシュボタン^①を短く続けて押すと、時計^①がステップ運針しますので、ゼロを表示するまで移動させます。
3. 次にプッシュボタン^②を1回押して分針^②の調整に入ります。
4. プッシュボタン^①を短く続けて押すと、分針^②がステップ運針しますので、ゼロを表示するまで移動させます。

5. 次にプッシュボタン**B**を1回押して秒針**3**の調整に入ります。
6. プッシュボタン**A**を短く続けて押すと、秒針**3**がステップ運針しますので、ゼロを表示するまで移動させます。
7. 次にプッシュボタン**B**を1回押して左のカウンター**4**の調整に入ります。
8. プッシュボタン**A**を短く続けて押すと、左のカウンター**4**の指針がステップ運針します。指針を後退させるには、プッシュボタン**A**を長押しします。
9. 次にプッシュボタン**B**を1回押して右のカウンター**5**の調整に入ります。
10. プッシュボタン**A**を短く続けて押すと、右のカウンター**5**の指針がステップ運針します。指針を後退させるには、プッシュボタン**A**を長押しします。
11. 再び時計**1**の調整を行うには、プッシュボタン**B**を1回押しします。

必要に応じ、以上を繰り返します。

12. クロノグラフ表示針の調整が終了したら、リユーズ**C**を押すと通常の時刻・日付表示に戻ります。

参考：以上の操作中、リユーズ**C**を押すことにより、いつでも通常の時刻・日付表示に戻ることができます。

表示針の調整は、時計、分針、秒針、左カウンター、右カウンターの順序で行われます。